

『水鳥が鳴く川辺の丘』

山根 俊郎

1. 孫夕友の作詞活動

作曲家孫夕友（ソン・ギュ 1920-）は、先号に紹介した『夢の中の愛』（孫夕友詞・外国曲【中国曲】）の創作に続き、1955年『水鳥が鳴く川辺の丘』（ムルセウン カソンドク・물새우는 강언덕 孫夕友詞・朴是春曲・白雪姫唄・ユニバーサルレコード）を作詞して、まず作詞家として有名になった。

還都以後、孫夕友はソウル南山洞に住む有名な作曲家朴是春（パク・チュン 1913-1996）の近所に住み、コンビを組み、朴是春の曲に作詞をするようになった。

作曲家朴是春は、その前年 1954 年 9 月にユニバーサルレコードを立ち上げて、歌謡皇帝南仁樹（ナム・イニス）が歌った『離別の釜山停車場』（ハヨレプ サンチョンコジャソ 이별의 부산정거장 胡童児=俞湖詞・朴是春曲・南仁樹唄）と新人の清純派女性歌手白雪姫（ペク・ソヒ）が歌う『春の日は行く』（ボケルンカンダ 봄날은 간다 孫露源詞・朴是春曲・白雪姫唄）が空前の大ヒットをした。孫夕友は、作曲家朴是春から仕事を貰い、清廉なイメージの白雪姫の第 2 弾の『水鳥が鳴く川辺の丘』を成功させたのである。

2. 映画挿入歌『水鳥が鳴く川辺の丘』

そもそもこの歌は、映画挿入歌であった。映画「久遠の愛情」（クオネ エジョン 구원의애정）について「韓国映画叢書」（韓国映画振興組合刊・1972 年発行・非売品）P329 から引用する。

「久遠の愛情」監督：閔慶植、出演：①尹一峰（ユン・イルボン・男）、②羅愛心（ナ・エシム・女）、③成笑民、④秋夕陽。音楽：金東振（キム・ドンジン）→主題歌は、越南した歌曲作曲家である金東振が作曲した。1955.5.12 封切。興行成績：記述なし。→普通？

あらすじ：一峰と愛心は恋人であった。6・25 事変で一峰は軍隊に入隊する。その後、彼の戦死の通知が舞い込む。失意の愛心は毎日、一峰を考えていた。昔、彼と愛をささやいた川辺を彷徨う。そんなある日、

死んだと思っていた一峰が負傷した身体でその川辺に現れる。二人は再会の歓喜に浸る。映画では主演女優の羅愛心が『水鳥が鳴く川辺の丘』を歌つた。歌詞から若い恋人が仲睦まじく川辺をデートする光景が思い浮かべられるであろう！



白雪姫

3. 歌手白雪姫の芸能人ファミリー

女性歌手白雪姫の情報について、私が「岩波世界人名大辞典」（2013 年発行）P2516 に記述したものを掲げる。白雪姫（ペク・ソヒ・백설희）本名：金喜淑、1927.1.29-2010.5.5 ソウル出生。1942 年OK 音楽舞踊研究所の研究生になり音楽と舞踊を学び 1944 年朝鮮樂劇団の中国公演の時から正式に舞台に立った。解放後、新星樂劇団、K. P. K 楽団で活躍をした。朝鮮戦争中には軍芸隊の慰問公演。1954 年にユニバ



黄海

ーサルレコードから『春の日は行く』をヒットさせた。他に『アメリカチャイナタウン』（54 年孫露源詞・朴是春曲）のヒット曲がある。夫は舞台俳優の黄海（ファンヘ・本名 全弘璆 1920-2005）であり、息子は歌手の全永祿（チヨン・ヨンソク 1954.3.26-）、孫娘は女性グループテアラのチョン・ポラム（전보람 1986.3.22-）。2010.5.5 に高血圧の合併症により京畿道広州の病院で死亡。享年 83 歳 2010 年演芸芸術賞特別功労賞を受賞。



全永祿



チョン・ポラム

ユニバーサルレコードのレコード番号 『曲名』 作詞・作曲・歌手 ☆=ヒット曲。

P1029-A面	『日陰に咲く花』（クヌヒエヌン コッ・그늘에 피는 꽃）高明基詞・朴是春曲・白雪姫唄。 伴奏 ユニバーサル軽音楽団
P1030-B面 ☆	『水鳥鳴く川の丘』（ムルセウン カソンドク・물새우는 강언덕）孫夕友詞・朴是春曲・白雪姫唄。伴奏 ユニバーサル軽音楽団 映画挿入歌。映画「久遠の愛情」（クオネ エジョン 구원의애정）1955.5.12 封切。映画では主演女優の羅愛心が歌つた。

『水鳥が鳴く川辺の丘』

물새우는 강언덕

남자:F·여자:C

Rumba

손석우 작사
박시춘 작곡
백설희 노래

물새우는 강언덕

— 물 새 —

— 우 는 고 요 한 강 언 덕 에 —

— 그 대 와 둘 이 서 부 르 는 —

사 랑 노 래 — 훌 러 가 는 저 강 물 —

— 가 는 곳 이 그 어 디 높 — 조 각 배 에 —

사 랑 실 고 — 행 복 찾 아 가 지 요 —

— 물 새 — 우 는 고 요 한 —

강 언 덕 에 — 그 대 와 둘 이 서 —

부 르 는 사 랑 노 래 — 훌 러 —

coda

* 水鳥が鳴く静かな川辺の丘で
あなたと二人で歌う愛の歌
流れゆくあの川の水の

↗ 行先はどこへ
小舟に愛を乗せて
幸せ探しにいきましょう (終わり)